

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立城西中学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査が実施されました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童(生徒)の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童(生徒)一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童(生徒)の学力の傾向を分析し、今後の学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和4年4月19日(火)

■ 調査の対象学年

中学校3年生生徒

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語,数学,理科)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童に対する調査	学校に対する調査
学習意欲,学習方法,学習環境,生活の諸側面に関する調査 (例)国語への興味・関心,授業内容の理解度,読書時間,勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組,指導方法の工夫,学校運営に関する取組,家庭・地域との連携の状況など

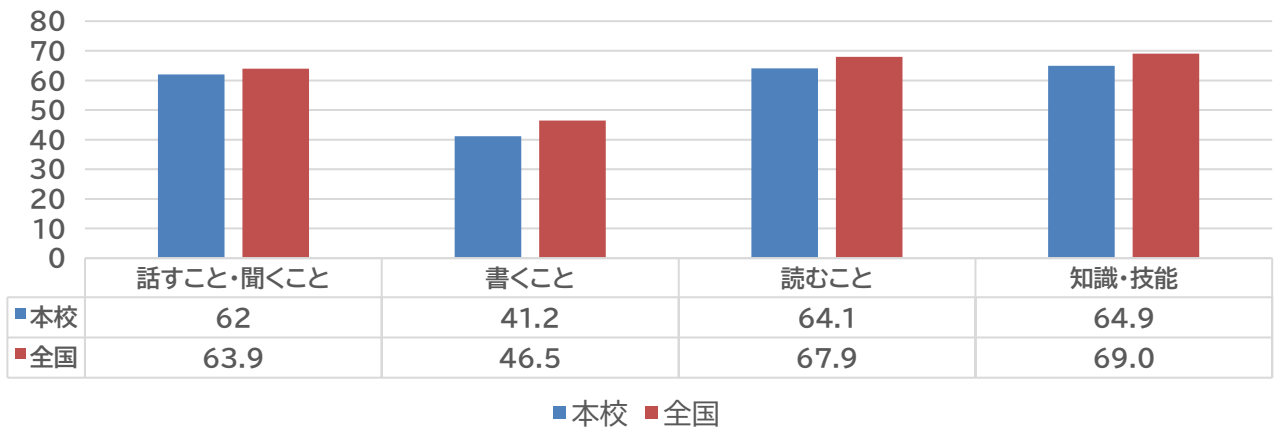
■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご欄ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語

全国平均正答率との比較(中学校国語)



(1) 結果

「話すこと・聞くこと」は全国平均とほぼ同等でしたが、「書くこと」「読むこと」「知識・技能」では全国平均を下回っていました。無回答率は、全16問中11問全国平均を下回っていました。

(2) 成果と課題

話すこと・聞くこと 全国平均とほぼ同等でした。『学び合い』の授業で、根拠をはっきりさせ、説明する活動を多く設定していきます。

書くこと 全国平均を5.3ポイント下回っていました。授業の『学び合い』で、相手や場に応じた言葉遣いで書くこと、伝えたい事柄を明確に書く活動を多く設定していきます。

読むこと 全国平均を3.8ポイント下回っていました。漢字の行書に関する問題(2問)では、全国平均を上回っていました。今後は、文章を読解する活動に取り組み、文章の内容や形態に応じて読む力を身につけさせていきます。

知識・理解 全国平均を4.1ポイント下回っていました。教科書や辞書、端末等のICT機器を活用しながら、話や文章の中において語句の意味や用法を理解しながら身につけさせるように指導していきます。

(3) 学力向上のための取り組み

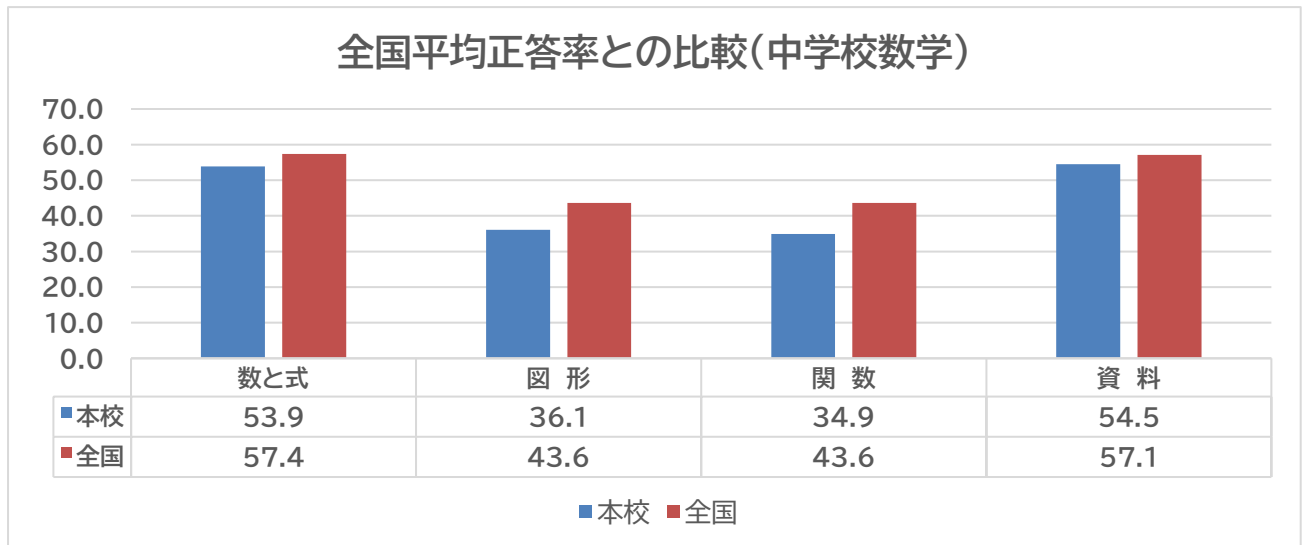
【学校では】

- 子どもが主体的に学べるように、『学び合い』の授業を行い、子供同士が話し合いながら、深く学んでいけるようにします。
- 日々の授業で力をつけていくように、全ての授業で「振り返り」の時間を設定します。
- タブレットや辞書を活用させ、多くの問題を解くことにより、語彙力、学力を向上させます。

【ご家庭では】

- 授業プリントやテスト答案など、間違ったところを復習することで、学力が大きく向上します。国語の学習をできるだけ毎日するように、家庭学習の習慣を身につけてほしいと思います。
- 国語の授業内容を尋ね、話題にして下さい。振り返りになり、学力向上につながります。
- 新聞や本、ニュース等から得た情報を共有し、話題にして下さい。知らない言葉が出てきたら、話題にして調べる習慣を身につければ、語彙力を高めることができます。

2 数学



(1) 結果

「資料の活用」は、ほぼ全国平均と同等の結果でしたが「数と式」「図形」「関数」の問題では、全国平均をやや下回っています。無解答率では、ほぼすべての問題で全国平均と同等でした。

(2) 成果と課題

観点別にみると「知識・理解」「思考・判断・表現」ともに、全国平均をやや下回っていました。領域ごとにみると、「資料の活用」以外は、全国平均をやや下回っており、「数と式」の「式の計算を利用して、数の性質を説明する問題」等の事柄の特徴を数学的に説明する問題では、正答率が低くなっています。今後、『学び合い』の授業で説明する活動、書く活動を毎時間設定し、振り返りでは記述した内容を確認させていきます。

(3) 学力向上のための取り組み

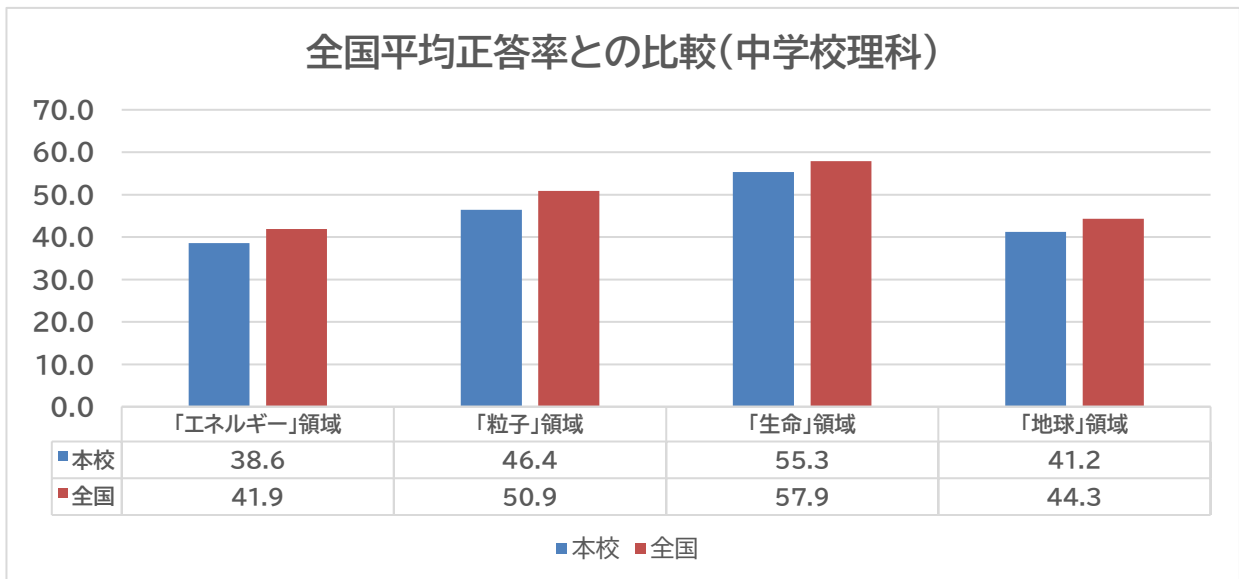
【学校では】

- 『学び合い』の授業で、数学的な見方や考え方を育むために、教えあったり、説明し合ったりする場面を設定していきます。
- 单元ごとに、身につけたい力を提示し、見通しを持って学習に取り組むことができます。さらに、授業の最後に、振り返りを行い、学習内容の定着を図ります。
- TT授業、ノートチェック、プリント、ドリル、家庭への課題など、日々の指導の中で個々のつまづきに応じた指導を行い、学力向上に努めます。

【ご家庭では】

- お子さまの授業プリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、学習内容を家庭内での話題にし、家庭学習につなげて下さい。自学ノートを活用し、授業でできなかった問題を挑戦するとよいと思います。
- 日頃の生活の中で見られる数学の事象も数多くありますので、一緒に調べていくと生徒の学習意欲の向上につながっていくと思います。
- 学習内容の理解を深めるために、同一問題や類似問題、さらには発展的な問題に取り組んでいくことも大切です。

3 理科



(1) 結果

「生命」の領域では、全国平均と同等ですが、それ以外の領域では、全国平均をやや下回っていました。また、無解答率を見ると、ほぼすべての問題で全国平均より低くなっています。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「地球」の領域の地層が傾いている向きを選択する問題の正答率が全国平均正答率を8.2ポイント上回っていました。評価の観点別では、「思考・判断・表現」では、全国平均と同等ですが、「知識・理解」では、全国平均をやや下回っていました。自然現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して解釈し、自分の考えを記述する問題が全国平均正答率を下回るなど、問題形式の「記述式」の問題でも課題が見られました。

『学び合い』の授業で、教えあったり伝え合ったりし、書く活動や説明する活動を設定して取り組んでいくことが重要であると考えています。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 毎時間、学習内容の振り返りをし、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ります。
- 理科の学習過程を「事象提示→課題→予想→実験・観察→結果→考察→課題…」とし、一貫した学習指導を行うことにより、生徒の思考力、判断力、表現力を向上させます。
- 様々な見方や考え方ができるように、『学び合い』の授業を行っていきます。また、結果に対する考察を論理的に書く機会を多く設定し、記述力の向上に努めます。

【ご家庭では】

- お子さまの宿題プリントやテストをご覧になって、学習内容を家庭内での話題にし、家庭学習につなげて下さい。また、励ましや称賛の言葉もかけてください。
- 理科が好きになる場合も、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と思う経験をさせることが有効です。星空を見上げて星座の話をしたり、コップの結露の理由を考えたりすることで、習ったことと日常生活での現象を結びつけると理解が深まることもあります。
- 佐賀県立宇宙科学館や佐賀県立博物館などの施設に、お時間があるときに一緒に行ってみることで、興味関心が向上することもあります。

4 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果

《生活習慣・挑戦心・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	80.9	79.9
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	39.3	37.0
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	57.3	56.8
自分にはよいところがあると思いますか。	38.2	36.0
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。	25.8	21.4
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	75.3	73.5
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	83.1	82.6

上記の項目ですべて全国平均を上回っています。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にしていけることは大変重要です。全員が心がけてほしいと思います。

挑戦心や規範意識の項目については、肯定的な回答が多く見られました。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	18.0	15.4
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	2.2	9.9
「2時間以上、3時間より少ない」	24.7	25.3
「1時間以上、2時間より少ない」	33.7	34.3
「30分以上、1時間より少ない」	24.7	17.0
「30分より少ない」	9.0	8.5
「全くしない」	5.6	4.9

家庭学習の時間については、全国平均をわずかに下回っていました。中には全く家庭学習をしていない生徒もいました。授業の復習をすることで、学力が向上します。家庭学習の手引きをもとに家庭学習の意味を保護者や生徒に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。また、自分の目標に向かって、計画を立てて家庭学習を行う習慣についても指導していきます。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 学校では、自学ノート等学年に応じた課題を出し、毎日取り組んでいます。今後も、家庭学習につながるような課題を出すなど、工夫していきます。
- 授業や特別活動、学校行事等、生徒の出番・役割を与えた活動を行い、生徒を承認していくことで、自己肯定感を育てていきます。いじめのない学校づくりのために、道徳教育の充実、相談しやすい環境を継続してつくっていきます。

【ご家庭では】

- 学校便り・学年便り・授業プリント等をご覧になり、学校に関する会話をすることで、コミュニケーションを毎日取っていただきたいと思います。毎日、決まった時間に家庭学習を行うように声かけをお願いいたします。
- 情報通信機器を使っている時間が長すぎる生徒も見られます。情報通信機器の使い方については、ご家庭でしっかりとお子さんと話し合っ、各家庭のルールを決めていただくようお願いいたします。